

保育理念

子どもたちの保育園での生活は、子どもたちの最善の利益を最優先し、愛護し子どもの福祉を積極的に進める。その中で、家庭や地域との連携を深めながら子どもの養護と教育を一体的に行い心身ともに健やかな育成を図るよう努める。職員は、豊かな人間性を高め、社会性と良識に磨きをかけて質の向上を図る。

保育方針

自発的遊びを通して、心身の健康と自立を育む
愛されている、受け入れられている、心地よさを感じながら生活する力、遊ぶ力、楽しむ力を育む
家庭や地域社会からの保育や園全般に関する要望・意見・相談は温かく受け止めわかりやすく対応する

保育目標

- 1、心身ともに健康で明るく元気な子ども
・歩く、走る、遊ぶなど戸外での活動を楽しむ
・食事、睡眠、排泄、着脱などの正しい習慣を繰り返し、自立の芽生えを養う
・身の回りの簡単なことは自分で処理する力を育てる
2、友だちや人を大切に、思いやりのある子ども
・友だちを思いやる心を養う
・お互い協調し合い助け合う心を養う
・心豊かで優しさとたくましさを培う
3、よく見て、聞いて、考える子ども
・生活の中で言葉への興味関心を育て豊かな情操、思考力、表現力の基礎を培う
・自然に多く触れ、豊かな体験を通して自分なりに物をみたり感じたり考えたりして、豊かな感情と創造性の芽生えを培う

3・4・5歳児の保育について (異年齢児混合保育)

令和6年4月より、当園では異年齢児保育(3.4.5歳)に移行します。



3・4・5歳児が、いるかグループ、さめグループ、ぺんぎんグループに均等に分かれ、それぞれのお部屋で生活します。3年間で兄、弟、姉、妹の関係が経験でき思いやりの心や憧れが育ち、何より、子どもたち同士で自主的に遊びが始まり育っていきます。自分で考えて行動する力、協力する力、粘り強さ、対応力、社会性、立ち直る力、様々な面での発達が期待され、大人が教えるのではなく、子ども同士が関わり合いながら育ち合えるようになっていきます。

学年ごとの活動のほうは「子どもたちにとって最適」な場面もあります。食事は、ランチルームで学年のお友だちと楽しく食べます。体育や音感保育、美術指導、プール遊びや運動を発表する会やお遊戯会等は、学年のお友達との時間を大切に力を合わせます。異年齢児保育と年齢別の保育の長所をいかした保育を進めていきます。これからもご理解ご協力をお願いいたします。

0・1・2歳児の保育について

(家庭で過ごすような緩やかな担当制保育)



保育園は、家庭的でいつも側にいてくれる優しい保育者に囲まれ落ち着いて過ごすことができる家庭に代わる生活の場所でありたいと考えています。

乳児クラスでは、1人の保育士が少人数を担当し保育します。(担当するお子さんだけを保育するということではありません) 1対1で着替え等の育児行為や食事のお手伝いをする育児担当制を実践し、園のお母さんとして優しく接し、子どもたちとの愛着関係がより深いものとなるように関わってまいります。食事はみんなで一緒に「いただきます」をせず、一人一人の生活リズムに合わせて、時間の差を付け食べ始めます。一人ずつ丁寧にに関わり、ゆっくり食べることができることで、食べる意欲と楽しく食べる喜びを保育者と一緒に味わうことができるということにつながっていきます。遊びについては、発達にあった遊びや玩具を揃え、子どもたちが自分で選んで遊び、好きな遊びを見つけたらじっくり遊びに取り組むことができるように環境を整えて行きます。

毎日の生活の流れを崩さずに生活することで、子どもたちの心の安定と保育者との信頼関係を大切にしながら保育をしていきます。

お願い

- 登降園について...9時までに登園してください。
お休みや遅れる場合には9時までに連絡をください。お休みの連絡がない場合には、確認の連絡をさせていただきますので、ご承知おきください。
お迎え予定の方が変わるときには、連絡をください。子どもたちの安全を守るために、本人確認をさせていただきます。ご理解ご協力をお願いします。
電子錠について...前方、後方に入出入りする方がみえても、子どもの飛び出しのリスクがあるので、電子錠(とびら)は、必ずしめてください。解除ボタンは保護者の方が押してください。

